

第84号【2014/7/1 発行】

発行元：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『太陽と雨』

医療教育支援室 成島 道昭

●医師の配属・異動・退職

●診療統計

●医療連携室からのお知らせ

●コメディカルリレー紹介

●TOPICS

●患者さんからのご意見・ご要望



トライアスロン世界大会スタート時の様子

巻頭言

『太陽と雨』

～医学部6年生、研修医達と～



医療教育支援室

成島 道昭

皆さんこんにちは、医療教育支援室の成島道昭です。北部病院では内科医師としてのキャリア以外に、医学教育や医療安全の仕事に従事し、昨年4月からは副院長職に就いております。医療教育支援室では、主に大学卒前・卒後教育をターゲットに、学生実習や卒後臨床研修に関わっておりますが、北部病院では毎月、臨床研修医一人一人に対して病院長と一緒に面談を行って来ました。事前に診療科指導医から各研修医の研修状況を確認し、その内容を踏まえて研修医に伝えるといった形式のもので、同時に病院長が研修医から直接病院の中で起きている様々な問題点や指摘事項を聞くことができます。病院長、臨床研修医、そして私の三者面談（外部委員の方を含め四者面談の時もありましたが）ですので、彼らが心の内をすべて吐露することは難しいのかもしれませんが、それでも今時の若者の考え方を知り、また臨床研修医1年次として入職した4月と比べると、多くの研修医達が毎月毎月少しずつでも成長していく様子が見てとれ、とても頼もしく感じている次第です。

面談といえば、以前劇団四季代表の浅利慶太さんがこんなことを言っておりました。「劇団四季では年に数回、オーディションを行っています。半世紀近い審査員の経験から、受験生が会場のドアを開け、我々の前で「受験番号〇〇番です」と言うまででほとんどの事がわかります。歩く姿を見るだけで、筋肉や関節の動き、身体のバランスからダンスの経験と資質が判断できます。そして声を聴けば声質や響きがわかる。今は歌えていなくても、レッスンを重ねればのびる素材なのかどうかは一声聴けばわかります。ほんの数十秒もあれば、受験生の資質は見えてしまうものなのです。」

ただし、短時間のオーディションでは絶対にわからないことがある。それはその人の持つ「根性」と「祈り」です。厳しい稽古に耐えられるだけの精神力を持っているか。舞台人として生きぬく強い意志や祈りを持っているのか。こればかりは、実際に稽古を通してしかわかりません。だから四季では、千人を超える応募者の中から、少し多めに五十名ほどの研究生を合格させるのです。厳しい関門を越え、俳優として生き続けるためには、生まれ育った才能だけでは無理です。舞台に立ちたいという「根性」と「祈り」があれば、才能はそれを追いかけるように育ってくる。昔から演劇界では、名優は不器用な俳優から出る、と言われていました。「ウサギとカメ」の話ではありませんが、目立たなくても努力を厭わない俳優の方が大成するのです。また俳優の「才能」「資質」は多面的なものです。スタイルが抜群で、輝くような美人もいる。それも一つの資質でしょう。また容姿はそれほどではなくても舞台を独り占めするような存在感を持つバイプレーヤーや、観客に本気で憎まれるほどの演技力がある悪役もいる。舞台は様々な才能が光り輝いてこそ、観客に感動を与えられるのです。

人生もまた同じです。人は誰でも、個性と才能を持っている。それを開花させるかどうかは、自分自身の心の中にある「祈り」です。何者かになりたいという意味。何事かを成し遂げたいという祈り。それこそが人生で最も大切であることを、若い人や子どもたちに伝えたいと思います。」と・・・。

珠玉名言が散りばめられたお話でしたので、少々引用が長くなってしまいました。ここに「ウサギとカメ」の話も出てきました。誰もが知っている昔話ですが、確かにカメは最後のゴールを目指してひたむきに歩きます。一方、ウサギが見ていたのは最後のゴールではなく、目の前のカメだったんですね。臨機応変さの良し悪しも紙一重で、最後の結果は言わずもがなです。

今年も半年が過ぎ、蒸し暑い夏の気配が感じ取れる陽気となりました。人を育てることはむずかしい。太陽だけでは干からび、雨ばかりでは根が腐る、照って降って、その塩梅と上手下手が人づくりを左右するのでしょうか。仕事は人に風格を与えます。「いい仕事をしている」者には、人を引き付ける魅力がありますよね。若い研修医達のみならず、北部病院のすべてのスタッフが一日一日、枝葉を伸ばしていったほしいと感じる毎日です。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

6月～7月

【新規採用】



渡邊 美保子
(緩和医療科)
札幌医科大
平成 18 年卒



小川 雄一郎
(女性骨盤底再建センター)
昭和大
平成 16 年卒

【配置転換】

- ・ 前田 康晴 (消化器センター ⇒ 救急センター)
- ・ 雨宮 妃 (心臓血管カテテル室 ⇒ 救急センター)
- ・ 山本 明和 (救急センター ⇒ 心臓血管カテテル室)
- ・ 石垣 智之 (救急センター ⇒ 消化器センター)

異動 退職医師

6月～7月

【学外研修】

- ・ 松原 英司 (女性骨盤底再建センター)

【退職】

- ・ 日比野 英子 (外科)

診療統計

2014 年 4 月～5 月統計データ()内は 1 日平均

診療実日数 4 月 (入院: 30 日・外来: 25 日)、5 月 (入院: 31 日・外来: 24 日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
4 月	29,810 人(1,192.4 人)	16,645 人(554.8 人)	320 件(10.7 件)	585 件(27.9 件)
5 月	28,266 人(1,177.8 人)	17,046 人(549.9 人)	298 件(9.6 件)	588 件(29.4 件)

北部イベント

春季公開講座

5 月 24 日(土)、当院西棟 4 階講堂におきまして春季公開講座を開催致しました。今回の公開講座は『認知症認定看護師について・認知症患者さんとのかわり方について』と『お薬の正しい飲み方』の 2 テーマで、45 名の方々にご参加いただきました。

参加者からは、「認知症の方とどう接するべきかの心構えが分かった」、「認知症予防のため、運動などで身体と頭を積極的に動かしたい」、「薬の保管方法や飲み合わせについて学べて参考になった」といった感想をいただきました。

今後も役に立つ情報をお届けいたします。秋季公開講座は、10 月 18 日(土)に開催を予定しております。詳細が決まり次第、院内掲示・ホームページ等でお知らせ致します。



地域医療連携室からのお知らせ

昭和大学横浜市北部病院は**地域の中核病院**として

高度な医療を提供してくために地域の医療機関と役割分担を行っています。

そのため、患者さんに最適な医療を提供していくために「**かかりつけ医(ファミリードクター)**」を推奨しています。

また、病気の症状が安定した患者さんは服薬管理や生活指導をファミリードクターにお願いするため、再び紹介させて頂いております。

港北区・緑区・青葉区の先生方のプロフィールを順次ご紹介していきます。地域の医療機関の先生方の住所・診療時間・科目やドクターの人となり、得意分野などにもスポットをあてて紹介しています。「かかりつけ医」の情報源としてお役に立てれば幸いです。



※ご提出頂いた順で掲載しております。

内科／産婦人科／小児科

東急東横線綱島駅より徒歩3分

綱島クリニック

港北区綱島西2-3-2

ナイスアーバンステイツ綱島2階

TEL: 045-540-4887

<http://www.tsunashimacclinic.or.jp>



院長 石田 由美 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:30～19:00	●	●	●	●	●	-	-	-

2000年に開業した女医による女性対象クリニックです。内科・産婦人科・小児科と幅広く対応出来ます。総合内科専門医として、風邪・めまい・体調不良など内科一般から、漢方外来・糖尿病や禁煙外来・喘息外来まで診療します。但し内科も女性のみ対応です。また産婦人科も子宮がん検診・生理痛相談・月経不順・避妊相談から拳児相談・妊婦健診・更年期相談まで、出産・育児の経験をもとに女医としてアドバイスを致します。小児科は予防接種に力を入れています。お手伝い出来れば嬉しいです。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー：女性の生涯のかかりつけ医になりたい
- 趣味/特技：読書、トランペット(今は無理かも)

内科／外科／呼吸器内科／消化器内科／アレルギー科／乳腺外科

横浜市営地下鉄、東急東横線日吉駅より徒歩3分

日吉内科

港北区日吉本町1-8-3

TEL: 045-566-2385

<http://www.hiyoshi-naika.jp/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	-	-
15:30～18:30	●	●	●	-	●	-	-	-

平成18年より日吉で開業しております。「患者さんの一番利益になることは何か？」を常に考えて診療しています。何でも気兼ねなく相談できるクリニックを目指しております。よろしくお願いいたします。



院長 三好 玲 先生

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー：継続は力なり
- 趣味/特技：ウェイトトレーニング、ブレイクダンス

さいだ耳鼻咽喉科気管食道科クリニック

港北区大倉山3-42-16

Tel: 045-546-6663

<http://www.good-voice.co.jp/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30～12:30	●	●	●	-	●	●	-	-
15:30～19:00	●	●	◎	-	●	◎	-	-

◎の午後は15:30～18:00



院長 斉田 晴仁 先生

声の専門外来を行っています。イタリア留学や東大音声研での研究、二期会オペラスタジオ研究生の経験を生かし、声でお困りの方へ、発声指導も含めた総合的な声の医療を行っていて、全国から患者様が来院されています。

声でお困りの方はお気軽にご相談ください。(昭和大学兼任講師)

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 一期一会

■趣味/特技: 歌、オペラ、ダイビング、昆虫

あさかぜクリニック

港北区新横浜2-12-20-501

Tel: 045-628-9600

<http://www.asakaze-clinic.com>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	-	●	-	●	◎	-	-
14:00～19:00	●	●	●	-	●	◎	-	-

◎土曜日は9:00～15:00



院長 大道寺 崇 先生

当院は、新横浜駅徒歩3分の場所にあります。初めての方には若干場所が分かりにくいかもしれませんが、人目に付きにくく比較的建物に入りやすいと思います。

心療内科・精神科では例え病名が同じでも、患者さんひとりひとりがそれぞれに異なった困難を抱えています。その事を念頭におき、よりきめ細かな診療を行うことを目指すとともに、薬の量や種類が徒に増えないよう、心掛けています。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 混んでいる時こそ、敢えて急がず、丁寧な診察を心掛ける

■趣味/特技: 旅行、読書

みよしクリニック

緑区鴨居3-1-6鴨居岩間ビル1階

Tel: 045-929-3440

<http://miyoshi-clinic.info>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	-	-
16:00～19:00	●	●	●	-	●	-	-	-



院長 三好 映子 先生

鴨居駅前ダイエーの向かいで開業しています。風邪をひいてしまったなどの日常の体調トラブルの他、高血圧、高脂血症などの慢性疾患、気管支喘息、睡眠時無呼吸症候群、逆流性食道炎などの継続治療を行っています。

体調のことでの心配、不安を気軽に相談できるクリニックを目指しています。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 笑顔

■趣味/特技:

梅の木眼科医院

青葉区市ヶ尾町1168-1

Tel : 045-972-4911

<http://umenokigannka.jp>

院長 加藤 道子 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30～12:00	●	●	●	-	●	●	-	-
15:00～17:30	●	-	●	-	●	◎	-	-

◎土曜日の午後は14:00～16:00

眼科の年々の進歩はめざましいものがあります。多種多様な検査等を駆使して、より快適な生活を送れるよう一緒に考えます。病院との連携プレーも重要です。「患者さんにとってよりよい医療」、「よりよい視機能」を目指します。また、眼科診療に関する相談、より快適な生活を送るための視覚補助グッズ、各種公的機関との窓口を備えたゲアルームを併設していますのでご相談下さい。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: こだわらない、かたよらない、しばられない
- 趣味/特技: ピアノ、水泳、ネコマッサージ

整形外科／形成外科

かなはら整形外科

青葉区藤が丘2-5-5

Tel : 045-972-7800

<http://www.kanahara.org>

院長 金原 憲治 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:15	●	●	●	-	●	◎	-	-
15:00～18:30	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前は9:00～13:00

1995年藤が丘の自動車学校の近くで開業し、2002年に現地(藤が丘駅ビル)に移転しました。専門は形成外科全般ですが、開業前には整形外科、一般外科(消化器外科)もそれぞれ数年間研修しました。整形外科と形成外科を中心とし、地域の皆様に役立てるようなクリニックを目指しております。

～院長先生に一問一答～

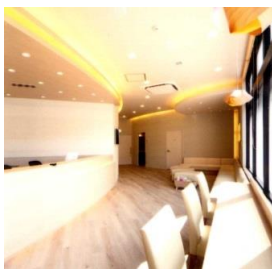
- 座右の銘又はモットー: 来て良かった、楽になった、安らいだと思えるクリニック
- 趣味/特技: 音楽、viola演奏

内科／循環器内科

大倉山わきもと内科

港北区大倉山5-25-19

Tel : 045-717-6887

<http://wakimoto-naika.com>

院長 脇本 博文 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	-	●	●	●	●	-
15:30～19:30	●	●	-	●	●	-	-	-

平成24年に大倉山スーパーライフ前に内科・循環器科を開業致しました。これまでは大学関連病院・赤十字病院等で不整脈治療を中心に診療に携わって参りました。現在は、これまでの経験を活かし地域の「かかりつけ医」として皆様の健康維持に少しでもお役に立ちたいと思っております。

又、地域の中核病院や専門の先生方と連携をとりながら適切な医療を心掛けて参ります。患者様に「受診して良かった。」と言っているだけのクリニックをめざしてスタッフ一同努力して参ります。どのような健康に関することでもお気軽にご相談ください。

城クリニック

港北区新横浜3-6-4

Tel : 045-477-1011

http://www.jo-clinic.jp



院長 城 俊明 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	—	●	●	—	—
15:00～18:30	●	●	●	●	●	◎	—	—

◎土曜日の午後は予約検査を行っております。12:30～17:00

迅速な対応、内視鏡(胃・大腸)は楽で正確な検査をお約束しています。胃と大腸の検査が同日に行えます。肛門科はなるべく切らずに硬化剤等の注射治療を行っています(痔核の場合)。内視鏡検査も痔の治療(手術の場合も)全て日帰りです。治療の効率を良くして、患者さんの精神的・金銭的な負担を最小限にすることを目指しています。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー:迅速・正確で楽な検査
- 趣味/特技:ゴルフ、散歩

八木クリニック

港北区菊名6-12-12-301

Tel : 045-423-2223



院長 八木 康之 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30～12:30	●	●	—	●	●	●	—	—
15:00～18:00	●	●	—	●	●	—	—	—

患者さん一人一人に最良の医療を提供するように努めています。詳細については「東横線Doctor's File」をご参照下さい。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー:健康がすべてではない。しかし健康がなければすべてがない。
- 趣味/特技:物語を書くこと

三保の森クリニック

緑区三保町195-1

Tel : 045-922-5255

http://www.akaedakai.com



院長 武林 祥裕 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	—	●	●	●	●	—	—
13:00～17:00	●	—	●	●	●	●	—	—

外来透析を専門にしている当院では、熟練した臨床工学士と看護師と共に、患者様お一人お一人の状態に合わせた適切な透析医療を提供しています。

昨今、高齢化の波は透析にも波及しており、通院透析が困難な患者様の数も増加しています。当院はそのような生活環境の変化を受け入れ、無理なく透析を続けられるように、ご本人様を取り巻く様々な環境ニーズに対応出来る体制を整えています。腎不全を上手くコントロールし、快適な生活を送っていただくために、スタッフ一同、最善の医療と真心を持って応援します。

コメディカルリレー紹介 vol.2 《薬局》

このページでは、病院内の様々な特色を持った部署・職種を順番に紹介していきます。



私たち薬剤師の業務は様々ですが、薬の専門家として、医療の担い手として医薬品の安全かつ適正な使用に係り、医師からの「処方せん」・「注射せん」を調剤することをはじめとして、チーム医療の中で、それぞれの患者さんの薬の効果、副作用についてチェックして薬の適正使用を目指しています。

平成 26 年 6 月現在、薬剤師 22 名にて各病棟に担当薬剤師を配して業務しております。

《業務内容の紹介》

- ・調薬部門 処方せん・注射せん調剤
- ・製剤部門 無菌・一般製剤調製 抗がん剤無菌調製 高カロリー輸液無菌調製
- ・外来化学療法 外来化学療法室での抗がん剤無菌調製および薬の説明および指導
- ・医薬品情報 医薬品情報収集、整理、提供 問い合わせ対応
- ・病棟部門 病棟薬剤管理指導 手術室・集中治療室における薬品管理
- ・薬務部門 薬品納入・払い出し 在庫管理
- ・医療チーム 感染対策 緩和医療 医療安全 褥瘡・栄養管理
- ・教育 薬学生実習受け入れ 薬剤師レジデントの教育
- ・地域連携 都筑区薬剤師会との連携（情報共有、勉強会の定期的開催など）

《調薬部門・製剤部門》

処方薬、注射薬は薬剤師ダブルチェックにより調剤を行い、医薬品適正使用、安全使用を確認しています。また、特に注意をするべき薬（ハイリスク薬）を設け、安全使用確認を実施しています。

《外来化学療法》

がん化学療法室にて資格を有する薬剤師による患者指導が実施されます。
（がん指導薬剤師 1 名、がん薬物療法認定薬剤師 1 名）

《病棟部門》

各病棟に担当薬剤師を配属し、患者さんのベッドサイドにて服用薬、注射薬の説明・指導を行い、患者さんが「薬を知ること」、理解を高めることを目指しています。
ご一緒にお薬を正しく管理しましょう。病棟薬剤師にお気軽にお声がけください。



《医療チーム》

感染制御認定薬剤師が ICT（感染制御チーム）に加わり感染予防・対策を行っています。

～お薬手帳を利用しましょう～

「お薬手帳」には服用薬が記載されます。服用歴やアレルギー歴、副作用歴は大事な情報です。当院外来受診時、入院時には必ずお持ちください。また、どの医療機関に受診した場合でも同様です。
かかりつけ薬局でお薬手帳を利用した服用薬チェックをしてください。

ご入院されている患者さんにとって「入院費の計算って複雑で分からない」、「DPC って何?」など、入院生活の中で病院に支払う医療費の疑問は、解消しておきたい不安なことのひとつではないでしょうか? その様な医療費に関する不安を総合相談センターで相談される方が非常に多くなっています。そのため、総合相談センターや医事課では、不安や心配を少しでも解消できるお手伝いをさせて頂いております。



入院費用の計算方法は「包括払い方式」と「出来高払い方式」があり、今回は包括払い方式についてご案内いたします。

《包括払い方式について》

$$\begin{array}{c}
 \boxed{\begin{array}{c} \text{入院医療費} \\ (1)+(2)+(3)+(4) \end{array}} = \boxed{\begin{array}{c} \text{(1) 包括医療費} \\ \hline \begin{array}{ccccc} \boxed{\begin{array}{c} 1 \text{ 日あたりの} \\ \text{包括医療費} \end{array}} & \times & \boxed{\begin{array}{c} \text{入院} \\ \text{日数} \end{array}} & \times & \boxed{\begin{array}{c} \text{医療機関別係数} \\ (\times 1) \end{array}} \end{array}} + \\
 \boxed{\begin{array}{c} \text{(2)} \\ \text{出来高医療費}(\times 2) \end{array}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{(3)} \\ \text{室料(有償室料)} \end{array}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{(4)} \\ \text{食事療養費} \end{array}}
 \end{array}$$

※1: 病院ごとに定められた係数です。

※2: 手術、麻酔等の医師技術料などが発生する診療行為ごとに料金を積算します。

※3: 上記以外に、自費で料金が発生するものもあります。(病衣、TV 代、オムツ代 など)

《DPC(診断群分類別包括支払い制度)とは》

Diagnosis(診断)と Procedure(治療・処置行為)の Combination(組み合わせ)の略称で、病気・症状と医療行為の組み合わせにより、**1 日あたりの定額料金が決められています。**この 1 日あたりの定額料金には、入院料・投薬・注射・検査・画像等の費用が含まれており、入院日数に応じて医療費が計算されます。ただし、医療者の高度な技術を要する手術・麻酔、内視鏡検査等(その他にも多数あり)については、包括医療費には含まれず積算されていきます。また、DPC は入院治療に限定した診療報酬の計算方法で、外来での診療は従来通りの出来高払い方式となっています。(※入院される方全てが包括払い方式にはあてはまりません。ご不明な点は医事課までお問い合わせください)

ちょっと
耳より情報

入院は一時的に高額な自己負担をしなくてはなりませんが、そうした事態を回避するために、「限度額適用認定証」があります。加入している保険組合、国民健康保険の場合は各市区町村の窓口申請すれば、病院の窓口で一定額以上の支払いをせずに済みますので、**ご入院される前に「限度額適用認定証」の手続きをお願いいたします。**

また、神奈川県外にお住いの乳幼児医療証をお持ちの方は、当院での利用が出来ないため、「限度額適用認定証」の申請をしていただくと窓口負担が軽減されます。なお、後日加入されている健康保険組合等で償還払いの手続きができます。

専門外来のご案内 ＜先天性心臓病外来＞

当院、循環器センターでの「先天性心臓病外来」の患者さんは

『妊婦さんのお腹の中の赤ちゃん(胎児) ～成人の方』まで対象です。

先天性心臓病外来では、胎児～成人の先天性心疾患の診断、胎児心不全や胎児不整脈の診断、治療を行っています。胎児の心臓病は妊娠 18 週前後から検査が可能です。産科からの紹介による精査だけでなく、心疾患の家族がいる、とにかく心配、といったご家族の希望によるスクリーニング検査も行っています。胎児診断により病態に応じた適切な分娩時期や分娩方法の選択、出生後のスムーズで安全性の高い治療が可能となります。

対象疾患：先天性心疾患、後天性心疾患

心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、川崎病
肺動脈狭窄症、ファロー四徴症、 など



外来日について

■胎児心疾患外来：毎週月曜日午後（藤本医師）、毎週水曜日午後（交代制）
毎週金曜日午前（木口医師）

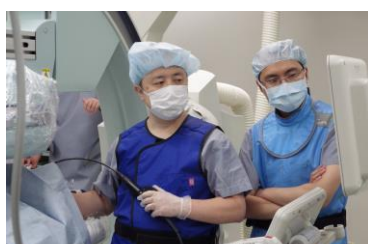
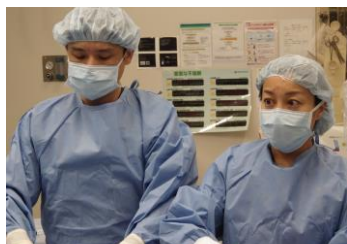
■成人先天性心疾患外来：毎週火曜日（旗医師（午前／午後）、富田医師（午後））

※他院からの「予約」、「ご紹介状」が必要となります。

治療について

昭和大学横浜市北部病院は「経皮的心房中隔欠損閉鎖セット」及び、「動脈管開存閉鎖セット」の認定施設であり、小児～成人まで年齢に関わらず先天性心疾患の治療を対象とする施設としては、県内唯一の施設です。先天性心疾患カテーテル治療全般に力をいれており、患者さんの身体に対する負担軽減と、入院期間短縮に大きく寄与しています。

また、カテーテル治療だけではなく、重症先天性心疾患の手術も実施しています。左心低形成症候群や完全大血管転位症など重症の新生児先天性心疾患の手術、後天性心疾患手術に精通した心臓血管外科医も在籍し、胎児・新生児期から内科治療、外科治療、カテーテル治療による包括的な治療管理が可能です。



胎児期に赤ちゃんの心臓病がわかることはご家族にとって辛いことですが、出産までに時間をかけてご家族と話し合いを持つことにより、心理的な面からもサポート出来るように当外来では努めています。

昭和大学横浜市北部病院では 2012 年 7 月に Quality Indicator(QI)委員会を立ち上げました。2013 年の公開を目標として、一般の方に理解されやすく、また医療の質向上に有益と考えられる指標を、(1)ストラクチャー、(2)プロセス、(3)アウトカム別、また部門ごとに検討してきました。

Donabedian (1919-2000)は 1966 年に発表した論文で『医療の質』は、
 (1)ストラクチャー（構造）：施設、医療機器、スタッフの種類や数など
 (2)プロセス（過程）：実際に行われた診療や看護の内容
 (3)アウトカム（結果）：診療や看護の結果としての患者の健康状態
 の 3 つの側面について評価できることを提唱しました。



一方、米国医学研究所 (Institute of Medicine) によれば、医療の質とは「個人および集団に対する診療行為が望まれた健康状態をもたらす可能性の高さであり、かつ、最新の専門知識と合致する度合いをいう」と定義されています。「望まれた健康状態をもたらす可能性の高い、最新の専門知識と合致する医療」とは、根拠(エビデンス)に基づいた医療 (Evidence-based Medicine ;EBM) に他ならず、医療の質とは、EBM に則った医療をどのくらい行っているかと言い換えることも出来ます。一方、実際の診断や治療の内容という専門技術的な質だけではなく、患者の満足度に代表されるような対人関係や快適さを中心に考えた医療の質も考えられます。

Quality Indicator(QI)とは具体的な医療体制、診療内容、診療結果から、このような医療の質を数値化した指標です。これを公表することにより、病院機能の定量的な可視化が可能となり、またこの指標をフィードバックすることにより客観的な指標に基づいて、医療の質の向上に取り組むことが出来ます。

これらの指標を継続的に検討することにより医療の質向上に努めるとともに、医学の進歩を反映する新たな指標の導入についても随時検討して行きたいと考えています。

◆褥瘡推定発生率◆

褥瘡とは、一般的に言う「床ずれ」のことです。同じ部位に圧迫や皮膚とのずれが長時間加わることで、血流の流れが悪くなり、その結果、皮膚の組織が損傷された状態のことを指します。表皮が剥ける程度から、深くなると骨が見えてしまう状態にも至ります。褥瘡が発生しやすい要因としては、痩せや低栄養、自分で身体を動かすことが出来ない寝たきりの状態や、高齢の方で痛みが認知しにくい、あるいは痛みを訴えることが出来ないケース、尿や汗により湿っていたり何らかの原因により身体に浮腫(むくんでいる状態)がある場合等が挙げられます。骨の突出している部位（具体的には、仙骨・尾骨部や踵、背骨や肘など）や、この他にも筋肉や脂肪の少ない部分に高頻度に発生します。1)

褥瘡は、体圧（体にかかる圧のこと）を適切に分散させたり、車椅子に座っている時に適宜除圧を行ったり、皮膚を保護するドレッシング剤等を使用して骨突出部を覆う等のケアの提供により、その発生を予防することが可能です。褥瘡発生は、疼痛を伴ったり、創部からの感染症の問題等、患者さんの QOL（Quality of Life：生活・生命の質）の低下をきたすことになりかねません。また、これにより在院日数が延長したり、医療費の増大にも影響を及ぼします。褥瘡の発生を予防することは、患者さんの QOL の維持のためにも重要であり、安全で質の高い医療の提供、及び病院の経営に直結する指標としても意味するところが大きいと言えます。

- 当院値の定義・算出方法

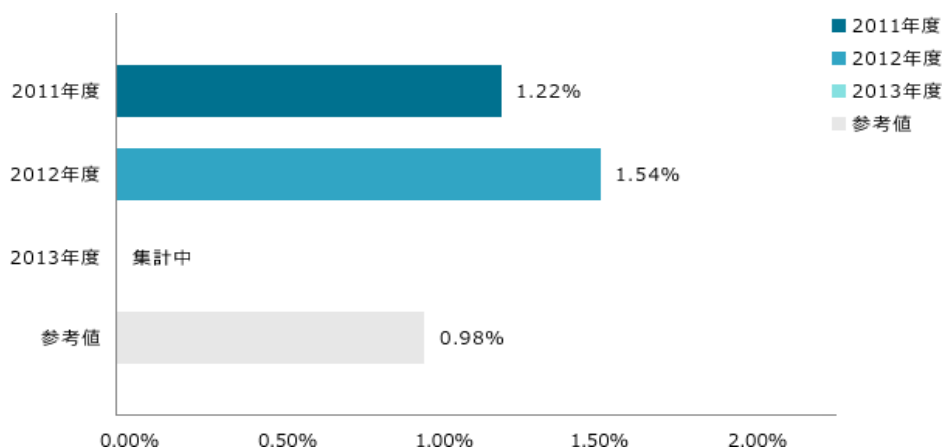
$$\frac{\text{【分子】 調査日に褥瘡を保有する患者数-入院時すでに褥瘡保有が記録されていた患者数}}{\text{【分母】 各月最終日の在院患者数}} \times 100$$

単位

%

【分母・分子包括】緩和ケア病棟、精神科病棟、認知症治療病棟データ

- 年次推移 -



※参考値：0.98%（大学病院統計データ）

日本褥瘡学会実態調査委員会：平成 18 年度日本褥瘡学会実態調査委員会報告 公表資料

当院値をどうみるか？

当院では、緩和ケア病棟・精神科病棟・認知症治療病棟を含めた褥瘡推定発生率を算出しています。緩和ケア病棟及び認知症治療病棟は、当院の持つ機能の特徴と言え、全国の大学病院においてこれらの病棟を備えている施設は少ないのが現状です。この現状に対し、当院データは、病状から褥瘡発生率が高くなりやすい特徴があるこの2病棟を含めて算出した数値であるため、参考値と比較するとやや高くなることはやむを得ないと考えられます。

“褥瘡対策チームによるケアの提供と、褥瘡発生ゼロを目指したスタッフ指導の強化”

病当院の褥瘡予防の取り組みとして、2006 年より褥瘡対策チームを発足しています。褥瘡対策チームは形成外科医・皮膚科医・リハビリ科医・研修医・薬剤師・管理栄養士・褥瘡担当長・副担当長・褥瘡リンクナース・皮膚排泄ケア認定看護師の多職種で構成されています。週 1 回の褥瘡回診時は、褥瘡予防や治療方法についてカンファレンスを開催し、各部署のスタッフや担当医師にアドバイスし褥瘡発生ゼロを目指して取り組んでいます。

当院での深度（褥瘡の深さ）別の褥瘡発生割合は、真皮までの浅い損傷が約 80%を占めています。

褥瘡の「DU」とは深い褥瘡であり、特徴としては、二重発赤や暗赤色～暗紫色の変化がみられます。DU の場合は急性期の褥瘡として、創部の変化をアセスメントして早期治療ができるようにしています。2011 年度は褥瘡の深さが D3、D4、D5 は 8%あったが、2012 年度は 3%まで減少しています。これは高機能体圧分散寝具を充足させ、十分な褥瘡予防環境が整備されたことで深い褥瘡発生の減少、DU の急性期褥瘡発生の減少に反映されています。d1 の褥瘡が 25%、d2 の褥瘡が 57%と共に前年度より増加しているが、このことはスタッフの観察能力、アセスメント能力が向上し早期発見につながってきていると考えられます。2012 年度は、高機能体圧分散寝具を充足させたが使用方法の周知が十分ではなく、効果的な使用方法ができていないことがありました。

2013 年度の課題としては、適切な体圧分散寝具の使用の評価、褥瘡に関する院内研修の開催の効果、褥瘡回診時に実践ケアの提供とスタッフ実践能力を支援していくことが必要と考え取り組んでいます。

【用語解説】

d1：持続する発赤

d2：真皮までの損傷

D3：皮下組織までの損傷

D4：皮下組織を超える損傷

D5：関節腔、体腔に至る損傷

DU：深さ判定が不能の場合

TOPICS

トライアスロン世界大会に医師・看護師を派遣しました

5月17日～18日に横浜で行われた、第5回トライアスロン世界大会に救護係として参加させていただきました。私は、第3回大会からお手伝いしています。毎年、天候に恵まれ、5月といえども夏のように暑く、救護係も真っ黒に日焼けするほどです。

私は、象の鼻公園救護所のリーダーをさせていただいています。そこは、1.5Kmの水泳、40Kmのバイクの次、最後の「走り＝ラン」のところですが、ここでは、いままでの体力の消耗に加え、さらに走ることによって脱水症状を起こす危険性が高いところですが、ここでの適切な塩分と水分の補給が、ゴールできるかできないかと言っても過言ではありません。私たち象の鼻公園救護所チームは、脱水予防として、塩のタブレットと水分供給をこの救護所でおこなっています。倒れてから・脱水になってからの手当ではなく、予防することを第1に心がけています。

また、私たちのチームは、毎年同じメンバーで結成されています。毎回、この大会が終わったら、「また来年も会いましょう」と約束するほどのチームワークです。脱水予防の取り組みについて互いにアイデアを出し合い、選手の皆様の競技の邪魔にならないように、時には伴走しながら、塩タブレットを配っています。今大会でも、脱水症状を起こした選手は0人でした。このような世界大会のお手伝いができることに喜びを感じ、終わった後の達成感は何とも言えません。トライアスロンは東京オリンピックから正式種目になるようです。今後も、この競技を理解し、選手の皆さんが最大限に力を発揮できるようなお手伝いを行っていきたいと思っています。

昭和大学横浜市北部病院 看護師長 佐々木 仁美



患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんより頂きましたご意見・ご要望に関しましては、関連する部署の責任者に報告し改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近多くいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	改善等
なぜ採尿と採血の順番が変わってしまったのですか？ 待ち時間が以前に比べてとても長くなり、とても不便しています。	採血室では平成26年3月27日から、病院の方針により採尿を先に行う運用を試験的に行っていましたが、多くの患者さんから同様のご意見・ご指摘を頂きました。 本運用については平成26年4月18日をもって終了とし、現在は以前の運用を行っております。 患者さんにはご不便・ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。
デイルームの汚れが目立つのですが、毎日清掃しているのでしょうか？	デイルームの清掃は月～土の9:00～9:30に行っております。午後は利用者が多数いらっしゃるため、見回りをして汚れが目立つ場合には清掃しております。

編集後記

今年も蒸暑い季節になりました。本号が発行される頃は、梅雨が明けているのでしょうか。北部病院は、今年も5月の連休明けからクールビズに入っております。患者さんをはじめ来院される方々や職員にご迷惑をお掛けすることになりますが、何卒ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

さて環境省は、ライフスタイルの変革を呼び掛ける「スーパークールビズ」を推進しているそうです。具体的には5つの取り組み「夏を涼しく過ごすために軽装で」「効率的な働き方に見直そう」「設備や機器を利用して快適に」「ちょっとしたアイデアで涼をとる」「みんなで涼しいところに集まろう」が提案されています。

資料に取り組み例が掲載されておりました。アロハシャツやポロシャツも活用、残業はしない、涼しい公共施設を活用する…などなど。

皆さんはどのような工夫をされるでしょうか？今年の夏も一緒に乗り切りましょう。

広報委員会 委員 城井義隆



北部病院だより 第84号

平成26年7月1日発行

発行責任者 世良田 和幸(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 北見 明彦(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。